２０２６年度　　児童発達支援センターだいち					
年間目標	①生活リズムを整え、身体を十分に動かし様々な動きのあるあそびを楽しみ、心地良さを味わいながら丈夫な身体づくりと体　力の向上を図る。 ②個々の発達段階に合わせた身辺処理面の向上を目指し、自分でやってみようとする事、できる事をひとつずつ増やしていく。 ③大人との心地良い関わりの中で気持ちの共有や共感、大人への信頼関係を育み、自分の思いを言葉や動作で表現し伝える。 ④大人を介して友達への意識を引き出し、友達との関わりを豊かにする。 ⑤達成感を積み重ね自信を持ち、自己肯定感を高める中で”もっと”の気持ちを引き出し、気持ちの折り合いや自己コントロールに繋げる。 ⑥保護者の不安や悩み、願いに寄り添い、保護者だけで抱え込むことがないように家庭との連携を図り、子どもの発達や特徴について共有する。				
	健康・生活	運動・感覚	認知・行動	言語・コミュニケーション	人間関係・社会性
	生活リズムに慣れる	身体を動かす楽しさを知る	生活の流れを知り、 周囲と行動する	自分の想いを表現する	好きなことを見つける
４～６月	一人ひとりのペースに合わせて新しい生活に慣れることができるように活動にゆとりを持つ。	様々な経験や身体を動かす機会を設ける。	絵カードや実物を使用したり、保育者の言葉がけと合わせて一緒に行動する。	喜怒哀楽、様々な想いに寄り添い受け止める。	興味・関心の幅が広がるような環境設定をする。
行事					
	清潔を心掛け生活する	静と動のバランスを取りながら生活する	指示を聞いたり、絵カードを見て行動する	気持ちを共有したり、伝わる楽しさを感じる	他者との関わりを楽しむ
７～９月	衣類の着脱、定時排泄を支援する	水あそびを中心に夏のあそびを用意する 個々の体調を把握し、休息の時間を設定する	分かりやすい言葉と視覚提示で伝えていく 指示したいことは順番に一つひとつ伝える	子ども目線で一緒に活動に取り組み、想いを共有する	大人が仲立ちをし、他児との関わりが持てるように支援する
行事	プール開き・七夕会				
	健康的な身体作りをする	五感で感じながら遊ぶ	場所や場面に合った行動を知る	自分の気持ちを言葉で表現する	活動の幅が広がる
10～12月	手洗いの仕方やハンカチの使い方を伝えていく 衣類の調整を行う	季節の移り変わりを感じられるような活動を行ったり、感触あそびを取り入れていく	今何をする時間なのかを伝えていく 散歩や行事では、交通ルールや決まりなどを伝えていく	子どもの言葉や想いに共感し、言葉で表現することの意欲につなげる	周りの行動に興味が持てるような関りをしていく
行事	クリスマス会				
	身の回りのことを自分でしようとする	身体を動かす楽しさを味わう	見通しを持って行動する	発語や会話が増える	仲間意識を持つ
1月～３月	自分でしようとするきっかけをを作ったり、励ましながら見守っていく 必要に応じて添い手で行っていく	身体を動かし”楽しい”を共有する 子ども同士でも”楽しい”を共有できるような言葉がけをする	活動の流れを伝えたり、次の活動をするために必要なことを伝えながら一緒に行う	子どもの声に寄り添い、思いを共有する。 子ども同士の会話を見守る	遊びの中で、自然に関われる機会を設ける
行事	節分会・ひな祭り卒園式				